二階堂かおる後援会報第2号

平成22年9月18日発行
発行責任者・小島慎二

イキイキ！新発田

成長戦略で仕事を作り
事業仕分けでムダをなくし
収入を増やして
お金は福祉にまわします！

「新発田は農業、農産物加工、観光で食っていく。
交流人口を増やせば商店街にもお金がおちる」

政策通！
実行力！
クリーン！

TEL.0254-24-2121　FAX.0254-20-8002

二階堂かおる後援会事務所
〒957-0051 新発田市城北町 2-7-1

ホームページ http://www.nikaido-k.com
二階堂かおる後援会　検索
E-mail nikaido-k@aroma.ocn.ne.jp

広がる「二階堂応援コール」!!

地域後援会が続々とできています。

（討議資料）

8月31日、豊浦中央公民館で「町づくりプランを語る会」大盛況！

猛暑の夜、約200人の参加を得て「町づくり実行プラン」の講演会が開かれました。

清田雅人氏の司会、斎藤明市議の心のこもった名演説に続いて二階堂によってプランの内容が話されました。若い女性の聴衆は「児童医療費無料」「未満児保育の充実」などの子育て支援の具体的政策に大きくうなづいていました。また「議員報酬は引き下げないのか?」「それは議会でお決めになることですが、私は議会の良識を信じています。それはそれとして、まずは自分から率先して」「発注事業は原則市内業者にというが、談合の温床になるのでは?」「そんなことは絶対にさせない」など、核心をついた質疑応答がなされました。

豊浦中央公民館を埋め尽くした方々

二階堂は「猛暑の中、本当に本当にありがとうございます」と声を詰まらせ、終了後の関係者打ち上げでも、感涙にむせびながら「ありがたい、ありがたい」と繰り返し、「皆さんのため、子どもたちのため、新発田のため、命がけで頑張る」と決意を新たにしていました。

9月6日、豊谷殿を会場に「しばたを考える青年の会」。150人の熱気に包まれる

「しばたを考える青年の会」（高澤大介会長）に、講師として招かれ、『町づくりプラン』について、講演の後、各々と意見交換を行いました。「仕事がなければ暮らせません」というキャッチに対して、「具体的な方策は?」などの質問が出ました。とくに商店街に関して、二階堂は「交流人口を増やすこと」がカギだと考えています。市外からどうやって人を呼んでこの町にお金を落としてもらうか、それは実行プランに書かれていますが、さらに詳細な施策については、若い人を含めて、知恵を出し合おうではありませんか。

勝手連？いや追っかけ？のブログ発見!!

二階堂かおる応援ブログ　検索

ホームページをチェックしていたら、なんと二階堂の「生い立ち」「人となり」まで載っているブログが出てきました。スタッフとして、二階堂がクリーンで政策通なのは分かっていましたが、意外に親しみ持てるオヤジであることを知りました。

「町づくりを語り合う会」、ご要望があれば、どこにでも飛んで行きます！

お問い合わせ／申し込み　TEL.0254-24-2121　FAX.0254-20-8002